

聞いて綴ろう あなたと 私のライフヒストリー

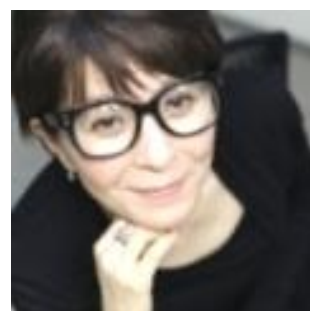
世界のあらゆるところで、グローバル化の動きがますます活発になってきています。今日、国境を越えて人やものが動く時代になりました。無数の文化や多様な価値観が存在する中で、人々はどのように生き方を模索し、道を拓いてきたのでしょうか？ライフヒストリーを書くための基礎講座に参加しませんか？

公開講座

11/26
(水)

『国境を越えた女性たち—取材の現場から』

大久保真紀さん 朝日新聞社編集委員



4階 研修室

12/10
(水)

『多様で、貴重なライフ・ヒストリーを聞きとる —地域とジェンダーの視点で』

平井和子さん 一橋大学客員教授・女性史研究者



4階 研修室

12/17
(水)

『聞き書きの醍醐味』

静岡市女性史研究会会員

しずおかの女たち
第八集

特集 市原正重の残したものと



静岡女性史研究会

しずおかの女たち
第八集 市原正重の残したものと
静岡女性史研究会

4階 41 集会室

- 開催日 11/26(水)・12/10(水)・12/17(水)
- 時 間 13時半～15時半
- 会 場 アイセル 21
- 定 員 1回目のみ公開講座 (30名)
全3回 参加者 (20名)
- 参加費 無料
- 対 象 どなたでも 20名 全3回参加者優先 ※公開講座のみの参加もできます。
- 申込み 11月6日(木)午前10時から電話で申込み(申込順) **054-248-7330**

主催：静岡女性史研究会・静岡市女性会館

申込・お問合せ Tel054-248-7330 (電話受付時間：平日9:00～19:00、土日9:00～17:00)

講師プロフィール

大久保真紀さん 朝日新聞社編集委員

1987年朝日新聞社に入社。盛岡、静岡両支局を経て、東京本社社会部、西部本社社会部などに在籍。2002年4月編集委員になり、06年4月から約2年間、鹿児島総局次長を務めた後、現職。著書に『買われる子どもたち—無垢の叫び』『こどもの権利を買わないで—プンとミーチャの物語』『明日がある—虐待を受けた子どもたち』『ああ わが祖国よ—国を訴えた中国残留日本人孤児たち』『中国残留日本人—「棄民」の経過と、帰国後の苦難』『児童養護施設の子どもたち』など。「想像を絶する移住者たちの絶望、その後の努力と苦勞……。その地に立ち、私は流れる涙を止めることができなかった」
“ドミニカ移民 小泉談話の持つ力”（朝日新聞 2013. 11. 9）

平井和子さん 一橋大学客員教授・女性史研究者

広島市生まれ、『西伊豆・土肥の女たち』（長倉書店、1985年）、『「ヒロシマ」以後の広島に生まれて—女性史・ジェンダー・ときどき犬』（ひろしま女性学研究所、2007年）、戦後のRAAや熱海・御殿をフィールドに占領期の米兵向け売買春に関する聞き取り調査をまとめた近刊『日本占領とジェンダー—米軍・買売春と日本女性たち』（2014. 8. 28）など。「日本史をジェンダーの視点で眺めてみれば・・・？」という問題意識から、古代から近代、現代に至る日本の歴史をジェンダーの視点、とくに女性史の流れに即しながら読み解いていく。県内各地の女性史を指導して30年になる。

静岡女性史研究会

歴史に書き残されなかった女性たちの生きざまを記して37年、激動の時代を懸命に生きてきた先人たちとの出会いを通して、様々な思いに触れ、感動、勇気や知恵を学んできた。その間に8冊の『しずおかの女たち』。静岡女性の会と共同で3冊の『道を拓いた女性たち』と『聞き書き集』を上梓。

人と人のつながり、知ることの喜び、歴史のひとこまを掘り起こした時の感動、そして、語る人と聞く人との双方向で作り上げていく作業、それが完成した時の喜びはまた格別。聞き書きの醍醐味をご一緒に！！



バスでお越しの方

JR 静岡駅北口10番のりば「県立病院高松線」
→「アイセル21」前下車

徒歩でお越しの方

JR 静岡駅北口より30分、静鉄新静岡駅より20分、日吉町駅より15分

※駐車場は台数に限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください

申し込み方法

11月6日（木）午前10時から電話でお申込みください。申込み順になりますが、全3回参加できる方が優先になります。初回、11月26日の公開講座のみのご参加もできます。

申込みは静岡市女性会館まで。

電話 054-248-7330

（電話受付時間：平日 9:00～19:00、土日 9:00～17:00）

